



展覧会 2018年11月3日〈土〉→12月16日〈日〉

新しく刷る——ピカソ VS 過去の巨匠

画家にして版画家 パブロ・ピカソ

伝統を刷新し新たな芸術を創り出してきたその冒険の軌跡を辿ります。

展覧会名	フランス国立図書館版画コレクション ピカソ 版画をめぐる冒険
開催場所	新潟市美術館 企画展示室
開催日	2018年11月3日（土）～2018年12月16日（日） 38日間
開場式	2018年11月2日（金）午後2時～
休館日	月曜日
開館時間	午前9時30分～午後6時（観覧券の販売は午後5時30分まで）
観 覧 料	前売 一般 800円 当日 一般 1,000円（800円）、大学・高校生 800円（600円）、中学生以下無料 *障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料 *（ ）内は、団体（20名以上）・リピーター割引料金 （本展観覧券の半券提示で2回目は団体料金に割引） 前売券販売所〔販売期間：8/10～11/2〕 新潟市美術館、新潟市新津美術館、新潟県立万代島美術館、セブン-イレブン（セブンチケット）、新潟伊勢丹、DeKKY401、インフォメーションセンターえん、hickory03travelers、シネ・ウインド
主催	ピカソ展新潟実行委員会（新潟市美術館・TeNY テレビ新潟）
後援	在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、新潟・フランス協会
協力	エールフランス航空
企画協力	（株）ブレーントラスト

お 問 合 せ 先 新潟市美術館（担当：児矢野（こやの）あゆみ、荒井直美）
〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9
TEL:025-223-1622 FAX:025-228-3051 E-mail：museum@city.niigata.lg.jp

◆展覧会概要◆

20 世紀最大の芸術家パブロ・ピカソ（1881－1973）。近代美術において造形革命を起こし、絵画、彫刻、陶芸など様々なジャンルで功績を残しました。美術史上まれにみる多作家でも知られ、その 91 年の生涯において版画だけでもなんと 2000 点近くを制作しています。

本展では、ピカソが見つめた西洋美術の伝統に注目します。ピカソは人物画や静物画を描きながら、ギリシャ・ローマ神話を主題とし、自らの分身ともいえる「ミノタウロス」を野心的に追い続けました。また、過去の巨匠たちの作品を、ただの模写ではなく自らの解釈を加えながら新たな作品に転換させたことも見過ごせません。世界でも屈指のコレクションを誇るフランス国立図書館の全面的な協力のもと、ピカソが挑戦したレンブラント、ゴヤなどの版画とともにご紹介します。伝統と対峙したピカソ版画の軌跡を辿る貴重な機会です。約 100 点の作品に加え、当館所蔵のピカソの油彩画も展示します。彼が闘牛士（マタドール）のように果敢に挑み創造したもの、その熱い魂をご覧ください。

◆本展のみどころ◆

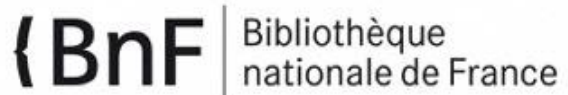
1 ピカソの全時代を網羅したフランス国立図書館の珠玉の版画コレクションより厳選！

ピカソ版画 89 点を展示

展示作品はすべてフランス国立図書館のコレクション。ピカソは 1899 年に版画制作に着手し、最晩年の 1972 年までおよそ 70 年以上にわたって 2,000 点近くを制作しました。その膨大な版画作品より、1905 年から 1971 年にかけて、つまりほぼ全生涯に渡る作品を厳選して展示します。まさに「ピカソの版画史」を辿る構成です。フランス国立図書館版画コレクションに加えて、新潟市美術館所蔵のピカソの油彩画《ギターとオレンジの果物鉢》と、版画作品 4 点（《貧しき人々》、《母の化粧》、《踊り子とフクロウ》）を展示します。版画から油彩画までピカソの創作に多角的に迫ります。

◆フランス国立図書館とは

芸術的・科学的な資料を収蔵するフランス、パリにある世界的な図書館。14 世紀にシャルル5世によって創立された王室文庫がその歴史の端緒にあります。コレクションの内容は多岐にわたり、書籍及び印刷物、原稿、版画、写真、地図、楽譜からコイン、ビデオ、マルチメディア、装飾品、コスチューム等にいたる 1500 万点の資料を収集し、紹介しています。



2 ピカソのイメージが変わる！？ ピカソ v s 過去の巨匠 「継承」と「変容」

——いい芸術家は模倣する、偉大な芸術家は盗む—— パブロ・ピカソ

自由自在に画風を変え美術表現を革新してきたピカソですが、過去の巨匠たちの傑作をもとに制作したことで知られています。構図の大胆な解体とモチーフの拡大や縮小といった操作を通して、自分流に画面を再構築するのです。ときには登場人物に親しい人物の姿を重ね合わせます。ひとつの作品に対し何通りにも行われた実験には、ピカソの野心的な挑戦の軌跡が刻まれているのです。フランス国立図書館より、ゴヤやレンブラントといったピカソが挑んだ過去の西洋巨匠たちの作品も同時に展示。17 世紀から 19 世紀にかけての作品を見比べながらご鑑賞いただけます。版画や作品のカラー参考図版のパネル、さらにセクションごとに設置された充実の作品解説パネルとともに、ピカソが過去の巨匠たちから構図やモチーフをどのように盗み、自らの作品へと転用したのかを探ります。

◆ピカソとともに展示される巨匠たちの作品

- レンブラント《エッケ・ホモ（民衆に晒されるキリスト）》など 4 点
- ゴヤ《ファニート・アピニャーニがみせた敏捷さと大胆さ》など 2 点
- ジル・ルスレ（プッサン《エリエゼルとリベカ》を版画へ）1 点
- シャルル＝シモン・プラディエ（アングル《ラファエロとラ・フォルナリーナ》を版画へ）1 点
- ジャック・ヴィヨン（マネ《草上の昼食》、《オランピア》を版画へ）2 点
- ピエール・オードゥワン（ベラスケス《ラス・メニーナス》を版画へ）1 点

3 ピカソが生涯をかけて挑んだものとは？

「主題」と「巨匠との対話」の2つを軸に、ピカソの軌跡を追う

◆章構成（2章構成）

第一章 版画家ピカソの主題

Section1-1 肖像画

Section1-2 静物画と動物の表象

Section1-3 芸術家とモデル

Section1-4 裸体画

Section1-5 神話と古代

第二章 過去の巨匠たちへの賛辞

Section2-1 ピカソとフランスの伝統

Section2-2 ピカソとスペイン画派

Section2-3 ピカソ、レンブラントに立ち向かう

Section2-4 ピカソ、クラナハの作品を再解釈する

第一章／ピカソが積極的に取り組んだ「主題」に注目します。恋多きピカソが描いた数々のモデルと、彼が愛しモチーフとした動物の数々を展示。さらに、ギリシャ・ローマ神話を着想源として制作した「バッカス祭」「牧神」などもご紹介します。その中でも注目すべきは「ミノタウロスの物語」です。ピカソ自身の内面を投影し長年追いかけた主題であり、彼がこよなく愛した故郷スペインの闘牛への情熱が込められています。

第二章／アカデミックな教育を受け、修業時代には美術館へ足繁く通い若い頃から美術作品に精通していたピカソ。自らを伝統の中に位置づけるべく、過去の巨匠たちの作品を解体し自らの作品へと再構築してきました。ピカソが挑戦した巨匠たちの作品や版画作品とともに展示します。

◆関連企画

1 講演会「版画史から見る技法と表現― デューラーからピカソまで」

講師：佐藤 直樹 氏（東京藝術大学美術学部准教授、元国立西洋美術館版画素描室長）

日時：11月25日（日） 午後2時から（90分程度）

2 美術講座「ピカソの恋人 ―描かれたミューズたち」

講師：荒井 直美（新潟市美術館学芸員）

日時：11月17日（土） 午後2時から（90分程度）

3 美術講座「ピカソとロシア」

講師：前山 裕司（新潟市美術館館長）

日時：12月15日（土） 午後2時から（90分程度）

※1～3は全て 会場：新潟市美術館 講堂、申込み不要、参加無料、先着100名

4 子ども講座「挑戦！ピカソっぽく描いてみよう」

日時：12月1日（土） 午後1時半～4時半

会場：新潟市美術館 実習室、企画展示室

対象：小学3年生～中学生と、その保護者（定員20名）※未就学児の同行はご遠慮下さい。

参加無料、要当日ピカソ展観覧券、事前申し込み制（締切11/12必着）※詳細は美術館webページへ。

5 ギャラリートーク（展覧会担当学芸員による解説）

日時：11月4日、12月2日（日） 午後2時～（約40分）※要当日観覧券※会場：企画展示室（申込不要）

◆広報用画像についてのご案内◆

*著作権使用料について

パブロ・ピカソの作品画像の掲載につきましては、別途著作権使用許諾の申請・著作権使用料が必要となりますが、以下の条件にてご使用いただく場合に限り、著作権使用料が免除となります。

■著作権使用料免除のための条件（文字のせ・画像の加工・改変無し、全図使用を前提といたします）

- 1.掲載媒体は、新聞・雑誌に限ります。ウェブ媒体への掲載はできません。
- 2.作品の複製寸法は、最大9×9.5cm（名刺大）、もしくは面積が49.5 cm²以下である場合に限りします。
- 3.展覧会情報（会場、会期等）の部分を除き、解説文が400字以内である場合に限りします。
- 4.〈雑誌に関して〉表紙・裏表紙ではなく、本文中への複製使用に限りします。
- 5.写真掲載にあたっては、〔チラシ掲載の画像一覧〕内のキャプション・クレジット全文を必ず表記してください。
- 6.使用に際しては、下記の株式会社フランス著作権事務所（BCF）に対し、必ず使用許可の申請を行ってください。

株式会社フランス著作権事務所（BCF）

〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-4 ササキビル903号室

TEL: 03-3815-8558 FAX: 03-5840-8872

Email : mn.picasso@bcf-tokyo.com<<mailto:mn.picasso@bcf-tokyo.com>>

あるいは…

*広報用作品画像は有料です。

パブロ・ピカソの作品画像を雑誌・新聞・ウェブ媒体へ掲載する場合は、著作権使用料が発生いたします。使用に際しては、下記の株式会社フランス著作権事務所（BCF）に対し、必ず使用許可の申請が必要となります。以下の手順の通り、ご申請を進めます。

- 1.著作権使用許諾書に必要な事項を記入のうえ、新潟市美術館までメールあるいはFaxでお送りください。
- 2.新潟市美術館より、フランス著作権事務所へ著作権使用料の見積もりを依頼します。
- 3.見積もり書と作品画像データを貴社へお送りします。
- 4.著作権料をお支払い頂けるようでしたら、掲載記事レイアウト案を美術館まで送りください。
- 5.フランス著作権事務所より正式に許可が下りましたら、美術館よりご連絡し掲載をお進めください。
- 6.後日、ご請求書がフランス著作権事務所より貴社へ届きますので、著作権料をお支払いください。

株式会社フランス著作権事務所（BCF）

〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-4 ササキビル903号室

TEL: 03-3815-8558 FAX: 03-5840-8872

Email : mn.picasso@bcf-tokyo.com<<mailto:mn.picasso@bcf-tokyo.com>>

※著作権料とは別に、フランス側への連絡手数料5000円、銀行送金手数料5000円が発生します。

※著作権料は、貴紙の発行部数・作品画像の面積・カラーかモノクロかで料金が変わってきます。お見積りは無料ですので、一度お問い合わせください。

※ゴヤの作品画像は無料でご使用いただけます。

＊広報用画像使用について（有料）

チラシに掲載されているパブロ・ピカソの作品画像を雑誌・新聞・ウェブ媒体へ掲載する場合は、著作権使用料が発生いたします。使用に際しては、下記の株式会社フランス著作権事務所（BCF）に対し、必ず使用許可の申請が必要となります。当館まで、掲載記事のレイアウトをお送り頂くほかに、添付の著作権使用許諾申請書へ必要事項をお書き込みのうえ、フランス著作権事務所へ見積もりの依頼をするようお願い申し上げます。

株式会社フランス著作権事務所（BCF）

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-4 ササキビル 903 号室

TEL: 03-3815-8558 FAX: 03-5840-8872

Email : mn.picasso@bcf-tokyo.com<<mailto:mn.picasso@bcf-tokyo.com>>

※著作権料とは別に、連絡手数料 5000 円、銀行送金手数料 5000 円が発生します。

※著作権料は、貴紙の発行部数・作品画像の面積・カラーかモノクロかで料金が変わってきます。お見積りは無料ですので、一度お問い合わせください。

※ゴヤの作品画像は無料でご使用いただけます。

◆展覧会ロゴマークのご案内（無料）

＊広報用画像使用について

本展には広報用画像として展覧会ロゴマーク 3 種（縦長・横長・四角）がございます。著作権使用料は発生しません。



1.横長



2.縦長



3.四角

同時開催

◆コレクション展Ⅱ「LANDSCAPE 水土の作家×NCAMコレクション」 8月7日（火）～ 12月2日（日）

◆コレクション展Ⅲ「美術の偶然！」 12月7日（金）～ 2019年4月7日（日）

コレクション展ギャラリートーク 11月24日（土）・12月22日（土） 各日午後2時から（30分程度）

※直接常設展示室にお越しください。 ※当日の観覧券が必要となります。

ふれあい美術館ガイド 11月18日（日）・12月16日（日） 各日午前11時から（30分程度）

（美術館協力会ボランティアによるご案内と解説）

※エントランスホールにお越しください。 ※当日の観覧券が必要となります。

Lounge N きままプログラム 16 みんなでつくるクリスマス 11月3日（土・祝）～ 12月24日（月・祝）

いつでもだれでも無料でご参加いただける気軽な造形プログラムを提供しています。

「フランス国立図書館版画コレクション ピカソ 版画をめぐる冒険」

開場式取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書（FAX 専用）

FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛

- ◆開場式（2018 年 11 月 2 日午後 2 時～）の取材、記事掲載時の作品写真（画像データ）及び読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAX でお申込みください。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は 1 媒体につき 10 組 20 名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限りさせていただきます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載された媒体は、1 部ご恵与ください。

○をおつけください	取材希望 ・ チケットプレゼント希望 ・ 記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス (データ送付先)	
ご媒体名	
取材予定日	11 月 2 日開場式・開場式以降 (月 日 時頃) ・取材予定なし
取材スタッフ	計 名 (内カメラクルー 名)
掲載・放映予定日	月 日
チケットプレゼント希望	組 枚 ※ 1 媒体につき 10 組 20 名様まで
作品画像掲載希望の方 ※画像を希望する場合は、該当するチラシ掲載作品画像のタイトルに☑を記してください。 ※有料となります。注意事項をよくご覧になってご申請ください。	☐ ピカソ《若い女の肖像（クラーナハ（子）による）II》 ☐ ピカソ《ミノタウロマキア》 ☐ ピカソ《マリー＝テレーズの顔》 ☐ ピカソ《槍》 ☐ ゴヤ《ファニート・アピニャーニがみせた敏捷さと大胆さ》
展覧会ロゴ掲載希望の方 ※提供無料。	☐ 1. 縦長 ☐ 2. 横長 ☐ 3. 四角

